

マタイの福音書 第7章 7節

「求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。」

いずれの勧めも、行動する側に何も無いところから始まります。何も無いから行動します。何も無いのは不安で、自信もありません。何も無い自分を人前にさらすのは恥ずかしいことです。自分の弱さをさらけ出すからです。しかし、それらのいっさいを退けて問うことを勧めます。命令しています。人前で自分がどのように見られるのかを気にすることなく、躊躇することなく、求め、探し、戸をたたくことを命令します。

それは、周りの者がどう見るかが問題ではなく、求め、探し、戸をたたく者自身に関わる大切なことだからです。周りの者たちとは直接に関わることはありません。とにかく、求め、探す、戸をたたく当事者に関わること、その者に重要なことです。命令するほど肝心なことです。

当事者を強調する一方、周りの者にも言及しなければなりません。それは、求め、探し、戸をたたくひとりの者がいるからこそ、そのあとに続く者がうまれてきます。確かにひとりの者の求め、探し、戸をたたきます。そして、その者が与えられ、見出し、開かれるのを知って後の者は続きます。

2024年7月10日